

# みぶりんだより

2017 年 2 月号 Vol.30

壬生町町民活動支援センター「みぶりん」

■開館時間

火～金 10時～18時

土・日・祝 10時～17時

(火～金は予約をして頂ければ 21 時まで利用可能です)

■休館日

月曜日・年末・年始

〒321-0214 壬生町大字壬生甲 3843-1 (保健福祉センター内)

電話 0282-21-8731 FAX 0282-21-8732

Mail: miburin@bz04.plala.or.jp

<http://www.town.mibu.tochigi.jp/miburin/>

★メールアドレスを教えてください、毎月

みぶりんだより (カラー版 PDF) をメールでお送りします。

HP URL



## 壬力の町ガイドボランティアの会 勉強会

2月25日に開催される「観光ガイド付き壬生城周辺ツアー」に向けて、壬力の町ガイドボランティアの会では、1月15日、事前勉強会を行いました。会員の皆さんは、コース毎に説明の分担を決め、本番さながらの真剣な目つきで、説明内容の確認を行いました。

「観光ガイド付き壬生城周辺ツアー」については、以下 URL を参照ください。

<http://www.town.mibu.tochigi.jp/docs/2016122700023/>

(取材担当 鈴木)



精忠神社



常楽寺



雄琴神社



興光寺



石崎邸



# 活動報告

## 小規模特別養護 老人ホーム **みぶ例幣使にて蕎麦打ち実演 蕎麦の会「みかど」**

12月29日、小規模特別養護老人ホーム「みぶ例幣使」で、蕎麦の会「みかど」の小倉和男様と鈴木理夫様による蕎麦打ちが行われました。

施設利用者の方は、蕎麦打ちの実演が目の前で見られるとあって、身を乗り出して見る人もいて興味津々の様子でした。

全員でテーブルを囲みながら打ち立ての蕎麦を食べる食事は、蕎麦の味をより一層美味しくし、会話も大いに弾み、楽しいひとときを過ごすことができました。

(取材担当 鈴木)



## ユーファームのお楽しみ会に「マジック」 **栃木県マジックホップの会**

12月30日、ユーファーム株式会社の年末お楽しみ会で、「栃木県マジックホップの会（代表 ばばひろし様）」によるマジックショーが行われました。

施設の方、約30人の前で披露されたマジックは、楽しいトークも交えた見事なもので、会場は笑いと思嘆の渦に包まれました。

「マジックホップの会」は、殆どが町外の方で構成されていますが、町内の施設、お達者サロン、自治会など、多くの場所で活躍されています。

※ユーファーム株式会社は、散歩の休暇所「いっぷくすっぺ」の設置にご協力頂いています。

(取材担当 鈴木)





## 活動報告

## 壬生北小学校にて「伝承遊び」 シルバー大学校同窓会 壬生支部

1月31日、シルバー大学校同窓会壬生支部の皆様にお力添えいただき、壬生北小学校1、2年生の生活の時間にて「伝承遊び」の授業が行われました。ベーゴマやけん玉等メジャーなものから、手作りするところから楽しめるエコトンボ、ぶんぶんこま、ペットボトルこま、複数人用糸電話など、10種類の創意工夫を凝らした遊びを紹介して頂きました。ありがとうございました。

もともと「昔遊び」という名前で行われていた「伝承遊び」ですが、暮らしや遊びの形態が変化するなかで遊び方を忘れてしまった人が多いものを、直接新しい世代に伝え、1つの文化として保護したいという思いから名前が「伝承遊び」に変更されており、参加希望をされた祖父母の方16名と、シルバー大学校同窓会の12名、1、2年生の児童たちが同じキラキラした目線で歓声を上げながら和気あいあいと楽しく交流していました。

年配の方から児童たちが教わるだけでなく、「昔やってたけど忘れちゃって」「持ち方がおかしいんだよ」と逆に教えられるという微笑ましい場面も見られました。

授業の終りのあいさつのあとも、児童たちとシルバー大学校同窓会の方が握手をして交流したりと、名残惜しげなところもあり、世代を超えた心の交流が見られました。(取材担当 坂本)



## 活動紹介

## 壬彫会 (じんちょうかい)

「壬彫会」は、平成9年4月に発足した日光彫の団体です。保健福祉センターの「いきがい作業室」で、毎週第2・3・4木曜日、午前10時から12時まで活動しています。

日光彫を体験することもできますので、一度、作品の制作現場を見学してみたいはいかがでしょうか。現在、会員募集中です。一緒にあなただけのオリジナル作品を作ってみませんか？入会を希望される方は、みぶりんまでお問い合わせください。(取材担当 小田垣)



## ●日光彫について

日光彫は、江戸時代の東照宮造り替えの際、全国各地からやってきた彫刻師たちが、余技に作ったのが始まりと考えられています。日光彫の技法には、ヒッカキ彫・浮し彫・透し彫・マル彫・カゴ彫などの方法がありますが、いずれの彫り方にも「ヒッカキ」と呼ばれる独特のキリダシを用いるのが特色です。木地には「県木」のトチノキやカツラ・ホオなどが用いられ、盆類・銘々柄・引出し物・テーブル・花台など、種類も豊富です。



会員の作品

**新規登録団体・個人**(1/1~1/31) みぶりんでは、団体・個人の登録を随時受け付けています。

登録No.	名 称	活 動 内 容
団体212	壬生町相談支援連絡会	障害児者やその家族からの様々な相談を受け支援を行ないます。
団体213	ユーフーム国谷駅東	障がい者が集まり、菌床生しいたけの栽培を行ないながら一般就労を目指しています。

## お知らせ

第6回

# みぶりん活動発表会を開催します!!

登録団体・個人の方の連携をより一層深め、協働のまちづくりを推進するため、第6回みぶりん活動発表会を下記の通り開催いたします。

■日時:2月26日(日) 10時~12時 ■会場:壬生町保健福祉センター 会議室

■内容:◇活動発表

- みぶアクティブクラブ (主に防災ボランティアに関する発表をしていただきます。)
- 壬生町相談支援連絡会 (障害児者やその家族を支援しているグループについて発表していただきます。)
- 安塚駅前広場「花愛好会」(東武安塚駅前の花壇についての発表です。)
- 愛祥会(新舞踊・民舞) (発表後、踊りを披露いたします。)

◇交流会 (普段、なかなか接することのない方々と一緒にお茶を飲みましょう!)

どなたでも参加OKです。奮ってご参加ください!



## 川遊びを思い出そう! 参加者大募集! 「川は友達」講演会

### 那須水害と余笹川ボランティア活動について

ふるさとの自然・川は、楽しい川遊びを通して川の大切さを学ぶ場であることを次世代の子どもたちへ継承する義務があると思います。この趣旨に基づき下記の通り講演会を開催します。ふるってご参加ください。

日時▶2月19日(日)13:30~15:00

場所▶壬生町保健福祉センター 大会議室

講師▶余笹川流域連携ネットワーク 会長 稲葉 茂様  
(NPO 法人 栃木県防災士会 理事長)

主催▶川の日を国民の祝日にしよう会

後援▶壬生町

申込・問合先▶壬生町町民活動支援センター みぶりん

☎0282-21-8731

※発表会に限らず、町民の活動を支援しています。これを機会にみぶりんをご利用ください。

## みぶりんが応援します

- ボランティア活動してみたい、ボランティア活動の募集をしたい
- ボランティア団体・NPO 団体などの情報が欲しい
- 地域活動・ボランティア活動などのために印刷機を使いたい  
パソコンを使いたい、会議室を借りたい…という方

どうぞお気軽にお立ち寄りください。  
町民の活動を支援しています。



★ボランティアの募集、イベント・講座のお知らせ、自団体の活動紹介、報告など「みぶりんだより」に載せて欲しい内容がございましたら、ぜひお寄せ下さい。

みぶりんだよりは下記のところに置いています

みぶりん・壬生町役場・各出張所・各コミュニティセンター・各公民館・生涯学習館・図書館・体育館・みらい館・おもちゃ博物館・各小中学校・壬生高校

## 会員募集

## 川の日を国民の祝日に!

私たちは、川の恩恵を享受していることに感謝し、一人一人が川の大切さを考え直すきっかけの記念日として、国民の祝日にすることを目的に運動を行っています。

◆年会費: 個人会員 1,000 円/年 ◆法人会員 10,000 円/1 口/年

## 川の日を国民の祝日にしよう会

会長 桑原 史朗

問合先▶壬生町町民活動支援センター みぶりん

☎0282-21-8731

【編集後記】 ■先日、自宅裏の雑木林で一匹のサルが歩いているのを発見、カメラを取りに戻ったが、すでに「サル影」なし、町内での目撃に驚き。(糸川) ■二人目の孫ができ「じいじ」と呼ばれて久しいのですが、そう呼ばれるのに抵抗があるのは「まだ若い」という気持ちがあるからだと思います。そろそろ自覚しないといけませんね。(鈴木) ■寒い季節は苦手です。暖かい季節が待ち遠しい…。(小田垣) ■年末年始にゆっくり休んだので、総重量が1割増になりました。あちこち旅行に行きたいので計画を立てています。(坂本)